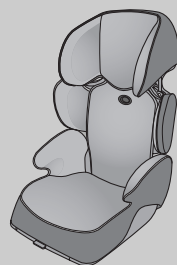
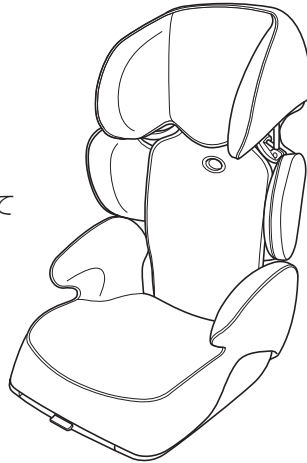
取扱説明書

takata312-neo junior seat

ご使用の前に必ずお読みいただき、取扱説明書に従い、正しくご使用ください。
また、いつでも読めるように、大切に保管してください。

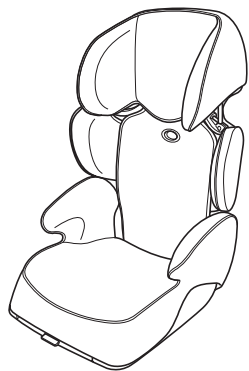
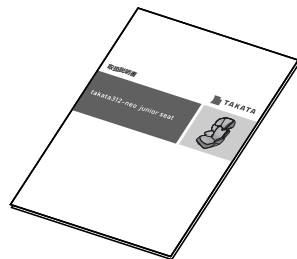
このジュニアシートは、自動車事故などの際に
お子さまを衝撃から守ったり、
衝撃を緩和することを目的につくられた
年少者用補助乗用装置です。
シートベルトを利用してお車の座席に
固定してご使用ください。
しかし、ジュニアシートは自動車事故において
必ずしもお子さまを無傷で守ることができる
わけではありません。
ジュニアシートの確実な取り付けとともに
安全運転をお願い申し上げます。

目　次

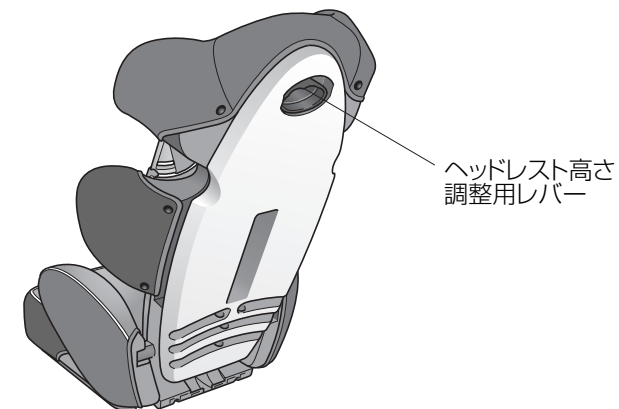
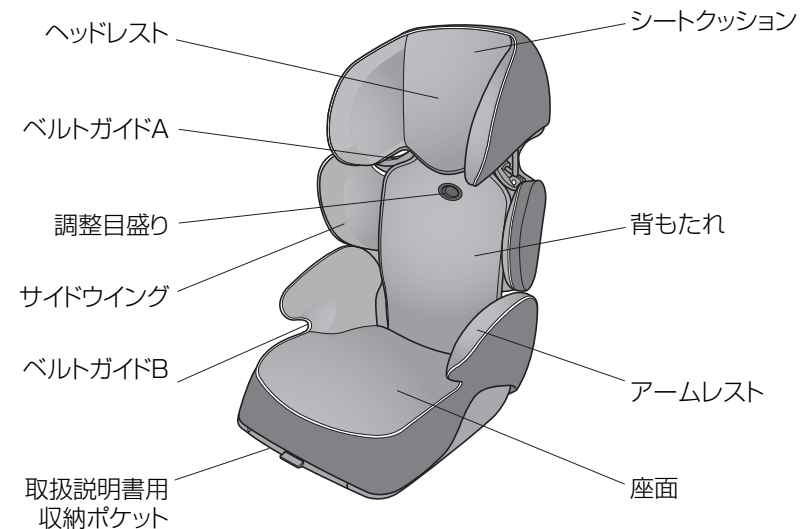
確認しておきましょう

次のものがそろっていますか

ご使用になる前に、下記の商品がそろっているか、確認してください。

欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室（0120-70-5441）までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、認可ラベルに記載されている認可ナンバーを必ずお伝えください。

■ジュニアシート本体

■取扱説明書

各部のなまえ

ジュニアシートと合わせて確認してください。

必ずお読みください

マーク表示について

この取扱説明書には、安全にご使用していただくために、特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。
これらの記載内容は重要ですので、しっかりとお読みください。

⚠警 告　取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を生じる可能性が想定される内容を示しています。

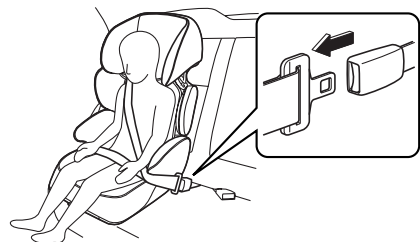
⚠注 意　取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性がある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。

ジュニアシートをご使用になる上で守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。

図示されている行為の禁止を示しています。

緊急時には

衝突事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

①お車のバックルのボタンを押してシートベルトのロックを解除し、お子さまにかかっているシートベルトを取り外す。

②お子さまを静かにジュニアシートから降ろす。

アドバイス

シートベルトが外れない場合は、シートベルトをハサミなどで切断してお子さまを救出してください。

お子さまの条件

このジュニアシートは、ヨーロッパ安全基準 ECE R44/04 に準拠して試験され、承認されています。

グループ	体　重	参考年齢
Ⅱ＋Ⅲ	15～36 kg	3～12 歳頃まで

年齢の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

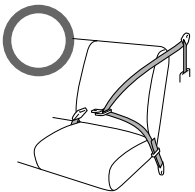
許可ナンバー

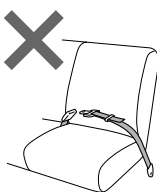
ジュニアシートに関してのお問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、認可ラベルに記載されている認可ナンバーを必ずお伝えください。
認可ナンバーは、ジュニアシート底面に貼り付けてある認可ラベルに記載されています。

お車への取付け

必ず下記の条件に従いお車へ取り付けてください。

ジュニアシートの向き	
前向き	○
後ろ向き	×

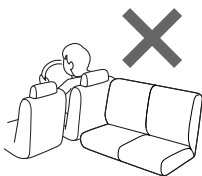
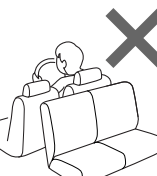
シートベルトの種類	
2点式シートベルト	×
3点式シートベルト	○ ※1

座席の種類	
助手席	※2
後部座席	○ ※3

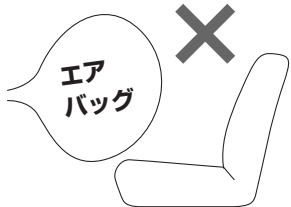
座席の向き	
前向き	○
後ろ向き	×
横向き	×

※1: ジュニアシートは ECE R16 または、同等の基準で認可された3点式シートベルトでのみご使用いただけます。但し、「腰ベルト側にELRが付いた3点式シートベルト」、「パッシブシートベルト」ではご使用いただけません。また、その他特殊な3点式シートベルトにつきましては、販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。

※2: エアバッグが付いている場合は、助手席では使用しないでください。

※3: 後部座席でご使用いただく場合は、できる限り前席と距離を離してご使用ください。

⚠警告

- 必ず3点式シートベルトでご使用ください。2点式シートベルトで使用した場合、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

3点式　2点式

- 後ろ向き、横向きの座席で使用した場合、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

横向き　後ろ向き

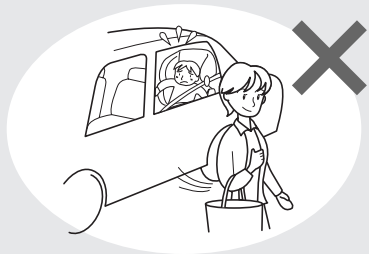
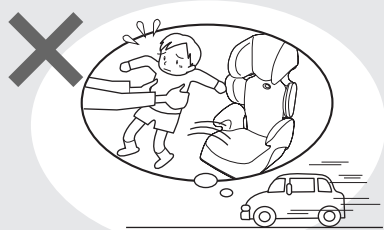
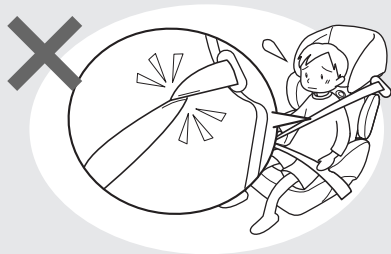
- エアバッグが付いている座席で使用した場合、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

ご使用にあたっては、お車の取扱説明書も必ずご確認ください。

ご使用上の注意

お子さまを乗せるときは

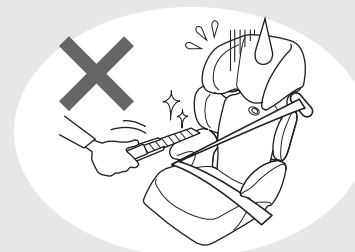
⚠ 警 告

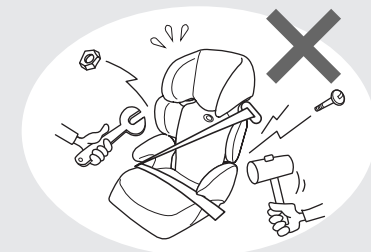
お子さまをジュニアシートに座らせたまま お車から離れないでください。
不慮の事故につながるおそれがあります。

走行中は、お子さまをジュニアシートから乗り降りさせないでください。

ベルトは、緩みやねじれのないようにお子さまの身体にあわせて調整してください。

腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等の時に圧迫されるおそれがあります。

取り付けるときは

⚠ 警 告

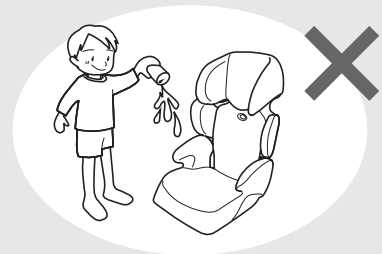
拘束性能に影響を与えるおそれがあるため、柔軟材料（専用カバー類）を取り外したり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。

ジュニアシートを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。ジュニアシートが正常な働きをしない場合があります。

肩ベルトが首にかかっていると、事故等の時に圧迫されるおそれがあります。
首にかからないよう、肩ベルトの高さを調整してください。

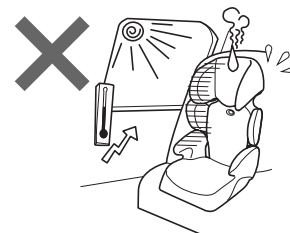
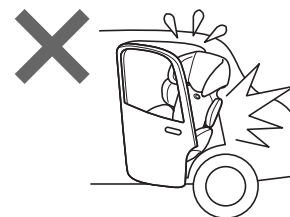
取扱説明書に記載された以上の分解や構成部品を取り外した状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。

こんなことにも注意して

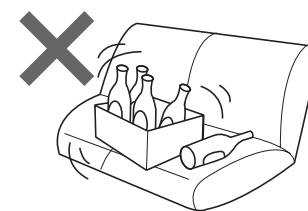
⚠ 警 告

事故等でジュニアシートが強い衝撃を受けた場合には、目に見えない破損があるおそれが強いので、新品に交換してください。

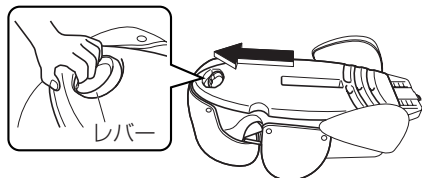
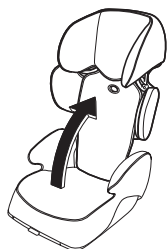
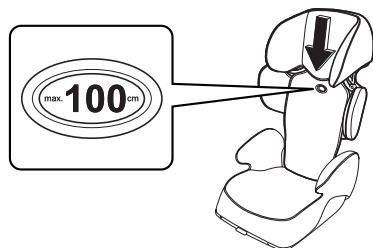
ジュニアシートには、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。

ジュニアシートを保管する時には、強い衝撃を与えたり、長期間屋外など日光が当たる場所に放置しないでください。

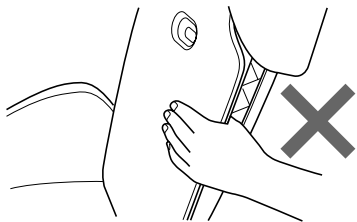
⚠ 注 意

ジュニアシートに日光が当たりますと、熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認の上、ご使用ください。

可動式シートまたは車両のドアにジュニアシートの剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにしてジュニアシートを取り付けてください。

ジュニアーシートにお子さまを乗せない時でも、安全のため車のシートベルトで必ず固定してください。衝突や急ブレーキの際にジュニアシートが移動して、ケガなどをするおそれがあります。

事故発生時、突起物や重量物等乗員に傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。
万一の時、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。

背もたれの起こしかた、倒しかた

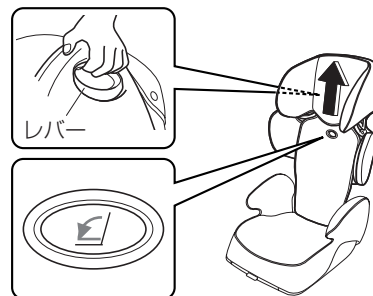
背もたれの起こしかた

①背もたれ背面のレバーを握り、ヘッドレストを引き上げ、最大位置まで伸ばします。

②レバーを握ったまま、背もたれと座面が直角になるまで背もたれを起こします。

③調整目盛りのマークが 以外になるまでヘッドレストを下げます。

⚠ 注 意

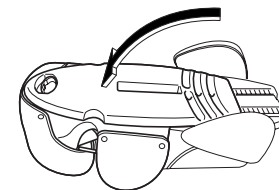
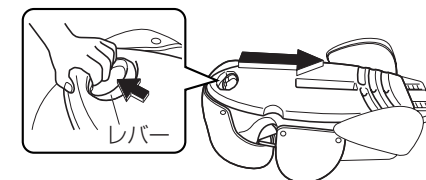
回転部分やスライド部分に指や物などを挟まないようにしてください。

アドバイス

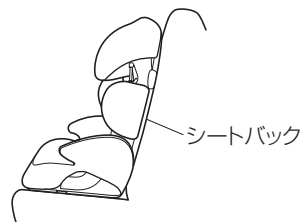
作業はジュニアシートが安定する場所で行ってください。

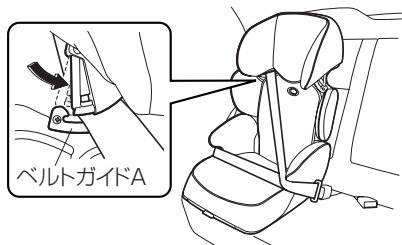
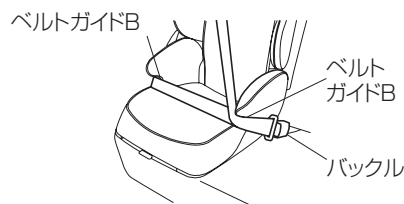
背もたれの倒しかた

①背もたれ背面のレバーを握り、調整目盛りのマークが になるまでヘッドレストを引き上げます。

アドバイス

- ヘッドレストを引き上げる際、片方の手で座面が動かないように押さえます。
- 背もたれ部の調整目盛りは、ヘッドレスト高さ調整時の目安で、数値はお子さまのおおまかな身長を示します。
  ベルトガイドＡの下側がお子さまの肩の高さになる位置に調整してください。

②レバーを握ったまま、背もたれを倒します。

③背もたれ背面のレバーを握り、ヘッドレストを一番下位置まで下げます。

お車への取り付けかた

①ジュニアシートをお車のシートバックに密着するよう座席におきます。

②シートベルトをジュニアシートにかけ、シートベルトを確実にロックします。

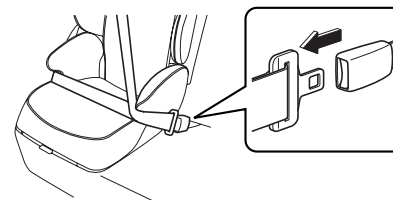
③肩側のシートベルトをヘッドレストとサイドウイングの間にあるベルトガイドAに通します。

④腰側のシートベルトと肩側のシートベルト(バックル側)をベルトガイドBに通します。

⚠警 告

エアバッグの付いた座席では使用しないでください。事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

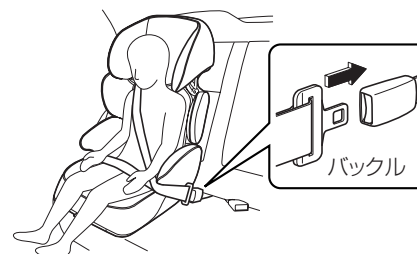
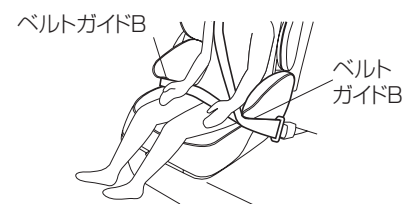
⚠注 意

ジュニアシートにお子さまが乗っていない場合でもシートベルトはロックしておいてください。ロックしておかないと、衝突や急ブレーキの際にシートが移動して、他の乗員がケガなどをするおそれがあります。

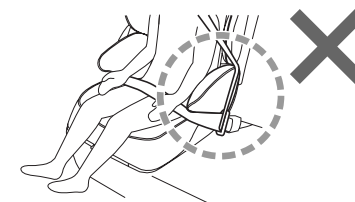
お子さまの座らせかた

①シートベルトのロックを解除します。

⚠注 意

肩側のシートベルトはベルトガイドAに通ったままであることを確認してください。

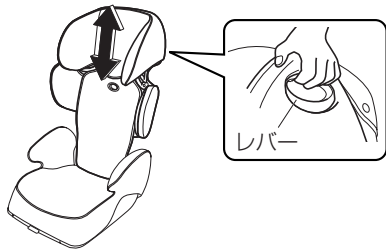
②お子さまをジュニアシートに深く座らせ、シートベルトを確実にロックします。

③腰側のシートベルトと肩側のシートベルト(バックル側)をベルトガイドBに通します。

④お子さまが正しく座れているか、次の事項を確認します。

- ベルトは緩みやねじれなくお子さまの体にあたっていること。
- 腰側のシートベルトがお子さまの大腿部の上を通っていること。
- 肩側のシートベルトがベルトガイドAを通り、お子さまの首にかからず、肩の上を通っていること。

⚠警 告

シートベルトがお子さまに正しく通っていないと、衝突時や急ブレーキの時などに、重大な傷害を受けるおそれがあります。

背もたれと合わせてご使用の場合

背もたれの調整のしかた

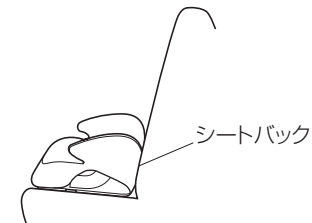
①背もたれ背面のレバーを握り、ヘッドレストを上下させます。

⚠アドバイス

- ヘッドレストを引き上げる際、片方の手で座面が動かないように押さえます。
- 背もたれ部の調整目盛りは、ヘッドレスト高さ調整時の目安で、数値はお子さまのおおまかな身長を示します。
  ベルトガイドＡの下側がお子さまの肩と同じ高さか、肩より高くなる位置に調整してください。

座面のみでご使用の場合

このジュニアシートは座面のみでもご使用いただけますが、できる限り背もたれと合わせてご使用いただくことをお勧めします。

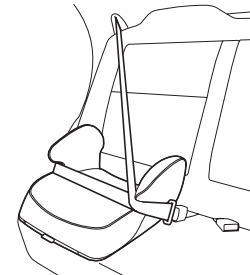
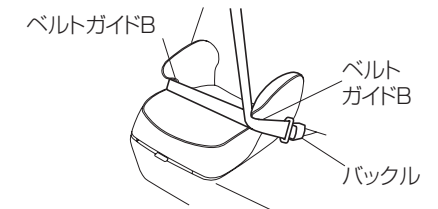
お車への取り付けかた

①ジュニアシートをお車のシートバックに密着するよう座席におきます。

②シートベルトをジュニアシートにかけ、シートベルトを確実にロックします。

③腰側のシートベルトと肩側のシートベルト(バックル側)をベルトガイドBに通します。

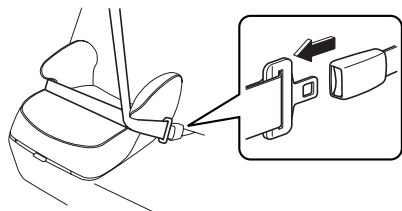
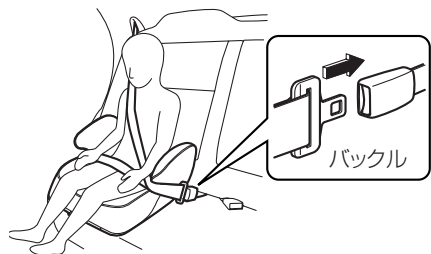
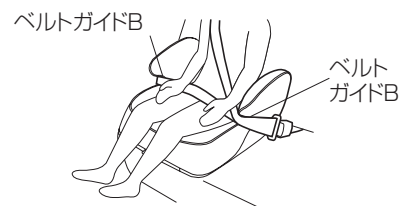
⚠警 告

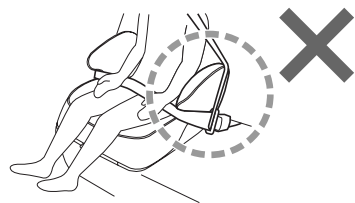
エアバッグの付いた座席では使用しないでください。事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注 意

ジュニアシートにお子さまが乗っていない場合でもシートベルトはロックしておいてください。ロックしておかないと、衝突や急ブレーキの際にシートが移動して、他の乗員がケガなどをするおそれがあります。

座面のみでご使用の場合

お子さまの座らせかた

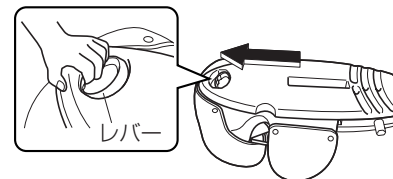
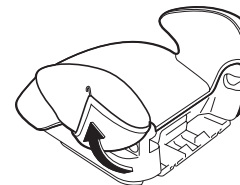
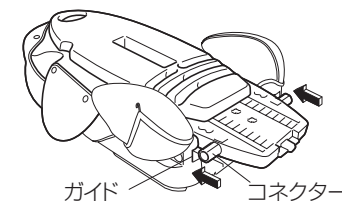
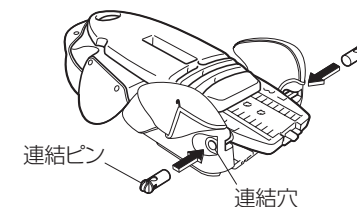
①シートベルトのロックを解除します。

②お子さまをジュニアシートに深く座らせ、シートベルトを確実にロックします。

③腰側のシートベルトと肩側のシートベルト(バックル側)をベルトガイドBに通します。

④お子さまが正しく座れているか、次の事項を確認します。
- ベルトは緩みやねじれなくお子さまの体にあたっていること。
- 腰側ベルトがお子さまの大腿部の上を通っていること。
- 肩側ベルトがお子さまの首にかからず肩の上を通っていること。

⚠警 告

シートベルトがお子さまに正しく通っていないと、衝突時や急ブレーキの時などに、重大な傷害を受けるおそれがあります。

背もたれと座面の組み付けかた

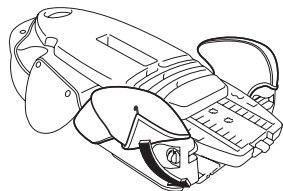
背もたれと座部の組み付け

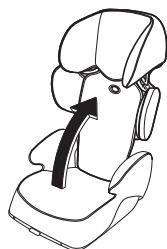
※梱包時は背もたれと座部が組み付けられています。初めてご使用の際には、下記の手順は必要ありません。

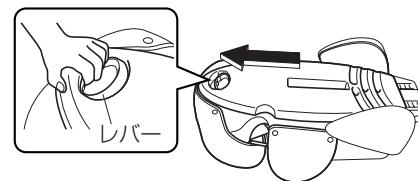
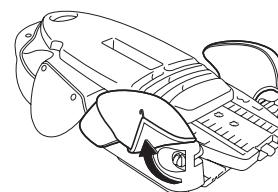
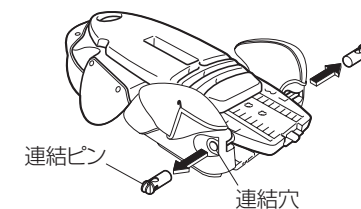
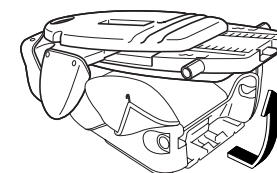
①背もたれ背面のレバーを握り、ヘッドレストを引き上げ、最大位置まで伸ばします。

②座面裏側のフックを取り外し、カバーをめくり上げます。
(カバーの取り外しかた → 23ページ)

③背もたれを座面と水平にし、背もたれ下端の両コネクターを座面のガイドにはめ込みます。

④座面後方の連結穴に連結ピンを差し込み、背もたれと座面を連結します。

次ページに続く

背もたれと座面の組み付けかた

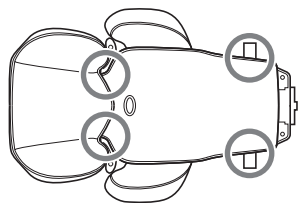
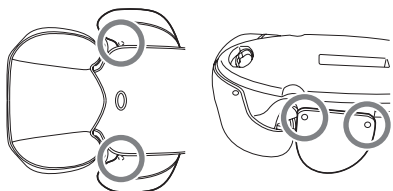
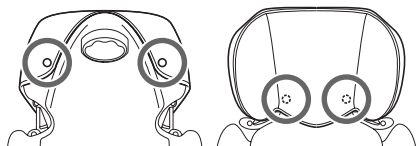
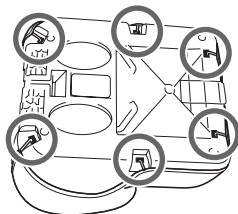
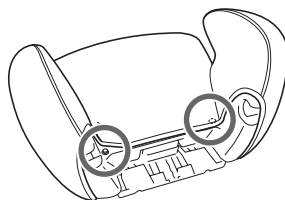
背もたれと座部の組み付け

⑤カバーを元に戻します。

⑥正しく組み付けられているか、次の事項を確認してください。

- 背もたれを持ち上げ、確実に正しく連結されていること。
- 背もたれが座面に対し直角まで起き上がること。

背もたれと座部を取り外す

①背もたれを倒した状態で背面のレバーを握り、ヘッドレストを引き、最大位置まで伸ばします。
（背もたれの倒しかた → 14ページ）

②座面裏側のフックを取り外し、カバーをめくり上げます。
（カバーの取り外しかた → 23ページ）

③座面後方にあるの連結ピンの頭を握り、連結穴から連結ピンを引き抜きます。

④背もたれ下端の両コネクターを座面のガイドから外します。

お手入れのしかた

カバーの取り外しかた

〈背もたれ中央部のカバー〉
①上部両側と下部両側にある4ヶ所の引っかけを外す。

〈サイドウイングのカバー〉
②ウイング外側にある2ヶ所のボタンとウイング内側にある1ヶ所のボタンをを外す。

〈ヘッドレストのカバー〉
③裏側にある2ヶ所のボタンを外し、表面のカバーをめくる。
④表面にある2ヶ所のフックを外す

〈座面のカバー〉
⑤座面の裏面にある6ヶ所のフックを外す。

⑥座面の表面にある2ヶ所のボタンを取り外す。

汚れた場合

〈カバー類〉
中性洗剤を使用して、手で押し洗いします。

⚠ 注 意

洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

〈本体〉
柔らかい布で乾拭きまたは水拭きしてください。

⚠ 注 意

- 洗剤類を使用しないでください。変色の恐れがあります。
- 水拭き後は完全に乾燥させてからご使用ください。

補修部品について

お買い上げの販売店、もしくは弊社お客様相談室までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、認可ラベルに記載されている認可ナンバーを必ずお伝えください。
（認可ラベル → 6 ページ）